

隣保館だより

編集 下榎隣保館
〒689-4526 日野町下榎 157 番地 1
電話：72-1191 (FAX 兼)
E-mail：rinpokan@town.hino.tottori.jp

第43回新春囲碁・将棋大会開催

1月11日、老人憩の家で、新春恒例の囲碁・将棋大会を開きました。

今年は、県外(新見市)から3人の参加者を迎え、囲碁・将棋合わせて24人(日南町・江府町から10人、地区外から2人)が参加。本大会の目的である下榎地区住民と他地域との参加者との交流が図られました。

昨年より、囲碁の部は四段以上をAクラス、二段・三段以上をBクラス、初段以下をCクラスに分け、総当たり戦で行っています。本大会では、Bクラスにて同率で3人の優勝者が出るなど熱戦が繰り広げられました。



▲真剣なまなざしで碁盤を読む参加者の皆さん▶囲碁の部Aクラスで優勝した藤田さん。トロフィーを手に笑顔を見せる

◆優勝者は次の皆さんです。

【将棋の部】 中原一輝さん (下榎)

【囲碁の部 Aクラス】 藤田洋児さん (根雨)

【囲碁の部 Bクラス】 足羽正敬さん (日南町)

松本 進さん (下榎)

片山直道さん (江府町)

【囲碁の部 Cクラス】 西村 通さん (下榎)

〈榎の実学習会・小中交流会〉 みんなで韓国料理に挑戦したよ!



▲生地をコネコネ…。みんなで料理、楽しいね!

12月24日、下榎集会所で、榎の実学習会の小学生と中学生の交流会を開きました。

今回の交流会では、韓国料理「チーズハットグ」に挑戦しました。初めて耳にする料理名に興味津々の子どもたち。インターネットで材料やレシピを確認して、この日までに買い出しも済ませてきました。

早速調理に挑戦! 先生の指導のもと、まずは生地作りです。ホットケーキミックス、小麦粉、水を混ぜてこねる作業を小学生が担当。できた生地を、串に

刺した裂けるチーズに巻き付けて、中学生が油で揚げていきます。そして、最後はグラニュー糖をまぶして完成です。

揚げたてのチーズハットグは、外はサクサク、一口ほおぼると中からチーズが。思わず子どもたちのほっぺたも落ちそうなほどおいしい一品に仕上がりました。

初挑戦の韓国料理でしたが、みんなで力を合わせて作り、料理の楽しさを味わうことができました。今後もちょうとした交流会を開いていきたいと思えます。

3月の行事予定

- 3日(火) … 料理教室 時間/午前10時~午後1時 会場/下榎集会所 講師/町管理栄養士 石原美希さん
- 10日(火) … 健康教室 時間/午前10時~午前11時30分 場所/老人憩の家 講師/高橋伸也さん
- 21日(土) … 生け花教室(草月流) 時間/午後1時30分~午後4時 会場/下榎集会所 講師/生田清子さん
- 25日(水) … よってみよい家 ※内容は検討中 時間/午前10時~午前11時30分 会場/老人憩の家
- 5日・12日・19日・26日(毎週木曜日) … いきいき百歳体操 時間/午後1時30分~ 場所/老人憩の家

※どなたでも参加できます。お気軽にお越しください。詳しくは、下榎隣保館(電話72-1191)までお問い合わせください。

農業委員会だより No.79

平成31年を振り返る。

日野町農業委員会会長 長住武美

昨年は農業委員会のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

アンケートの結果を分析したところ、高齢化が進み耕作できなくなる地域・後継者がいない農家が見えてきました。周辺の水利など、条件の悪い農地で耕作や維持管理の難しい場所を、今後どのように守っていくのかが問題になってきます。

農地の条件によって、耕作する作物を変えるなどの工夫が必要になるとともに、耕作放棄すれば有害鳥獣による被害も増えることが考えられます。また、山も農地と同様に、適切な管理をしなければ、ゲリラ豪雨で土石流が下流へと流れ、被害が発生するリスクも高くなってきます。土地を適切に管理することで、保水力も増え夏場の水不足も補えることと思います。



令和2年度から中山間地域等直接支払制度も5期目を迎えます。今後は一層、他地域との連携も視野に各集落で話し合いを重ねながら、農地の保全管理に取り組んでいくてほしいと思います。

今後も、農業委員会の活動に対し、皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

農業委員会アンケート集計結果

農業委員会では、農地所有者を対象に、将来の農業や農地についてどのような思いを持っているのかを把握するため、アンケート調査を実施しました。結果は以下のとおりです。ご協力ありがとうございました。
 <農業委員会アンケート>実施期間 / 令和元年 7月10日～9月1日 回答数 / 444件 平均年齢 / 65歳

設問	回答内容	回答数	割合
農業後継者の有無について	いる	165	37.2%
	いない	275	61.9%
	無回答	4	0.9%
後継者の年代 (複数回答あり)	10代	3	0.7%
	20代	10	2.3%
	30代	31	7.0%
	40代	50	11.3%
	50代	53	11.9%
	60代	17	3.8%
	70代以上	7	1.6%
耕作していない農地の有無	あり	234	52.7%
	なし	189	42.6%
	無回答	21	4.7%

設問	回答内容	回答数	割合
所有している農地を維持できる年数	5年	206	46.4%
	10年以上	82	18.5%
	維持できない	130	29.3%
	無回答	26	5.8%
「5年・10年維持可能」と回答した人の農地維持方針 (複数回答あり)	自分で耕作	203	45.7%
	担い手に依頼	86	19.4%
	その他(公社へ依頼など)	9	2.0%
	わからない	42	9.5%
5年後の日野町の農業について (複数回答あり)	無回答	52	11.7%
	荒れた農地ばかりになる	280	63.1%
	新規就農者が増える	22	5.0%
	何も変わらない	109	24.5%
5年後の日野町の農業について (複数回答あり)	誰もする人がいなくなる	104	23.4%
	その他	17	3.8%

アンケートの結果、「後継者がいない」(61.9%)、「所有している農地を今後5年は維持できる」「維持できない」(合計75.7%)となり、5年後の農地の維持保全に不安が残る結果となりました。

町では、現在、5年間の農業の指針となる「がんばる地域プラン」の策定に取り組んでいます。農業委員会も町と連携しながら、集落へ出向き、農地の問題に向けた話し合いなどを進めていきたいと考えています。